日立労働基準監督署が
全国安全週間に合わせて建設現場の安全パトロールを実施しました

令和７年７月４日

日立労働基準監督署（署長　大久保一樹）は、令和７年７月４日、全国安全週間（７月１日から７月７日まで）の実施に合わせ、日立市中成沢町内において日立土木・多賀土木・丸光特定建設工事共同企業体が施行する運動公園野球場の建築工事現場に対し、パトロールを実施しました。

パトロールでは、熱中症対策の取組みとして、休憩場所の出入口等、作業員の目につく場所に報告体制や初期対応方法について掲示し、周知に努めている状況等を確認しました。

←大串工事所長（写真右）と
熱中症対策を確認する大久保署長（写真左）

また、工事車両と作業者の通路の分離、建設重機と作業者の接触防止措置、段差の解消や整理整頓による転倒防止対策等、工事現場における労働災害防止対策の重要性について、確認しました。

大串工事所長（写真左）と工事現場の説明　→
を受ける大久保署長（写真右）

労働災害防止には、現場における安全対策のみならず、適正な工期設定も重要な要素となります。事業者・労働者の一丸となった取り組みに加え、発注者等の関係者による適切な配慮や連携にご協力をお願いします。

日立労働基準監督署　第３方面
TEL：0294-88-3980